



十有七日

大隈侯閣下 位下

清政以奉皇極壯

有之容在攝

心象あり其法ナラシ

実乃其の心

殊陳即公も有之

此後此時と場所

よの好けえ不果其

喜あまはれ生れ

一言ニレテ申せ度平



一言ニシテ申せば平

生ノ夢祝ありし

岡下と船方信子

提督ノ時節既筆

敵ニ徴力増也

其ノ知遇ニ確見

と所右子の甲如文

去今和岡不帝

近の世事也

三指の物心苦

一かん可きヤ

花史史史史

一かゝり可きや

老い歴史如く

際言ら申上り占

もナリ春西ノ詩人

ノ句ニアん通り

司従い再ハ知以

ヲ用かまらし止
子盛

後ハ面白キヲ至

ナリ百笑キフモ

ナリ唯ハ快ハ先

何ト云ハ知識上ニ

ナリも感情上ニ

ナリも将ヲ欲向

何 矢 矢

於之も感情是

於之も将夕儀向

上ニ於之も強ト

種 異 粉 人

中ニ立千尺

ナレ也

併シ生は英系

ヲ我死之當時

因下ナリ相傳ナリ

何シニテ毛最

踊之止考リ

ヲ勸め之討死

踊之止きりたる人

ヲ勸むる討死

流恨り定り居り

此間今度及内兩

ノアミシ限り

御力り及尽

甚欲り可改決心

ニ法ある在は

大谷右左衛門

又新中納言

知威先づの期

レハ岡本雅量

天... 氣...

知感先... 期

心... 雅量

海... 而... 人

肺... 見... 人

明... 惟... 也

如... 欺... 一

片... 男... 心腸

牙... 何... 已... 也

世... 肩... 勿... 事

周... 下... 九... 人

恐... 心... 出... 自

恐ろしくいふ生か合自

ノ岸止ニ懐馬

夕う二思後抜

却ノ了毛ニ 異後

尚ほ可ナリ 恐ろしく

中生五問や 善月久

先ノ情 及之考

了ニ信ニ去 法陷

止考 殆ニト控ニ

ノ朋友ヲお手

ニ一歎ヲ試ニト

欲ニノ事ナリ

欲たの心事可

解也世可之唯

因不商所存者

海客の船いらい
在橋

不道しをい

尤存の人或種

後注の世ノ

一身に加や而し
世に

世に何事にも
日本

刻卷ありし
紳士

自況

若者... 紳士

色... 自泥泥

毛... 他

一... 津

崇... 述

一... 古

此... 心

因... 加

此... 手

此... 手

而... 融

通... 光

而して由何の融

通ノキカ又田力也

カリ知リ新花

可シ今ヨリ三

個月同ニ事

実ニ之ヲ証シテ

傳リアラシ

若シ大石寺陸

カリ所中融生知

先ノ面自リ金

了レテ雨ニ周

地ニ然リアラスは

了レテ雨ニ周

地ニ然リテアラスは

周下ニ収テリ

揺ル出テ周下

ノ情抱ニ返取

リ皆テ有テ億

星終天津也

周下ニ孤テ也

ナリ故ニ後節

ナレ揚念テリトモ一言

モ思フ周下ニホ

スナハルヤレ也

リ皆の有り信

星終天津

周の孤を

ナリ故に後

ん揚念より七言

も思ひ周の

スナキ也し此

周の在る人

朝の或は

ラ吏元事の

る是し新の

止也の事